



H 2 1 年 5 月 2 8 日

さくしん

下氷鉋小学校

(校長室だより 1 3)

校長 大内 徹

本校のロータリーの周辺では、このところ、白と淡いピンクのハナミズキ、深い赤と白の牡丹、薄青色の藤の花・・・と、それぞれの花が今か今かと自分の出番を待っていたかのように、入れ替わり立ち替わり咲き、私たちの目を楽しませてくれました。風薫る五月もあっという間に過ぎて、まもなく梅雨入りしそうな気配を感じるこの頃であります。

先日の 2 4 日 (日) には PTA 資源回収が行われ、小雨の中ではありましたが、地域や保護者の皆様には早朝よりご協力をいただきましてありがとうございました。資源回収も Recycle(リサイクル)(利再来る??) 活動の一つであり、その取り組みを通じて「勿体ない」という気持ちや、「物の命を最後まで大切に作る」心を育てていくことができると願っております。

資源回収等の収益金は PTA 活動の大きな支えになっているものと理解しておりますが、その PTA の特別予算から多額の費用をご用意いただき、この春、本校の「作新相撲場」の朽ちかけていた太い柱を三本新しいものと取り替えていただきました。校長講話でも全校児童の皆さんにお話しましたが、今年は馬場先生にご苦労いただき、長野市の相撲協会からまわし用のベルトをお借りして、学級や学年の相撲大会などでまわしをつけて相撲をやれるようにしました。まわしがなくても、相撲をとることはできますが、それでは本来の相撲を取ることはできません。足腰、そして腕の力を生かした相撲にはならないのです。この二週間、各学年の計画による相撲大会があり、私も二時間目の休み時間に作新相撲場に行って、それぞれの学年の取り組みを観戦しました。男女とも大変見応えがありました。土俵際まで寄られて押し出されそうになっても、踏ん張って粘り、今度は体を入れ替えて、逆に相手を押し出したり、寄り切ったりするなど、最後まであきらめずに戦う姿があって、素晴らしいなあと思いました。また、自分のクラスの友達を一生懸命応援している様子も素晴らしいと感心して見ていました。学級の団結力を更に高めていくためにも絶好の行事だと確信しました。今回が下氷鉋小の春場所なら、「夏場所や秋場所もあるといいなあ」と、また次回に向けての新たな夢や期待が膨らみました。

つい先日、大相撲夏場所が終わったばかりですが、私は千秋楽の優勝争いを夢中になってテレビで見えていました。個人的なことで恐縮でございますが、私は日馬富士の大ファンです。幕内最軽量なのに、稽古に稽古をつんで身につけた技や実力で自分よりも大きな相手を投げ倒すなど、スピードのある相撲に大変魅せられます。自分よりも上背のある相手に果敢に挑み、粘り勝ちした子ども達の姿を思い出しながら見ていました。

話は変わりますが、本校の相撲場は、二十一代校長 柳澤照三先生の在職中、昭和 6 1 年、今から 2 4 年前に作られました。その頃の柳澤校長先生は大変相撲が好きで、赴任して行く学校で子ども達に相撲を教えて、相撲を盛んにしてきたと聞いております。その年の春の P T A 作業でお父さんやお母さん達が力を合わせて、土を盛って、土俵だけは作ったようですが、雨風に土がすぐに流されてしまうので、屋根のついた相撲場を建てることを思い立ったとのこと。お金がかかることであり、どうしても相撲場建設の費用が生み出せず、あきらめかけていた頃、相談にのっていただいた地域在住の鈴木 強様、窪田 信一様、牧村 省様の三名の方々から、百五十万円のご寄付をいただき、高原建設様からも、建築費用や技術面でも大変ご協力をいただいて、あの素晴らしい相撲場ができあがったということでもあります。「作新相撲場」という名前は当時

の児童の皆さんに考えてもらってつけたということです。本校のようにあれほど素晴らしい相撲場をもっている学校は他には大豆島小学校くらいです。昨年用事でここにやってきた他の学校の先生も、「こんなに素晴らしい相撲場があるなんて、すごいですね。下氷鉋小がうらやましいですね」と話されておりました。たくさんのお金のかかっている、あの素晴らしい作新相撲場をどんどん利用してもらいたいのです。そうでないと、まさに「宝の持ち腐れ」になってしまいます。

先週の日曜日には長野市の「わんぱく相撲大会」があり、本校からも多数の子ども達が参加しました。事前に馬場先生や小林（英）先生、教頭先生が朝からぶつかりげいこの相手をして指導して下さったお陰か、下氷鉋小の子ども達は活躍でした。また、大相撲でもそうですが、わんぱく相撲大会でも、取り組みの前後にはきちんと礼をしていました。ただ勝てばいいというのではなく、相撲をやりながら、礼儀正しさやフェアプレーの精神を学んでいってもらえるうれしいです。6月にはNBSの相撲大会がありますので奮って参加するといいです。また、相撲に限らず、サッカーや野球、鬼ごっこなど、朝や休み時間など、校庭や体育館で、友達と明るく仲良く、元気に体を動かして遊べる下氷鉋小学校の子ども達であってほしいと願っております。

さて、舎内に目を移して、各教室を覗いてみると花がきれいに飾られています。そういえば、つい二、三日前の朝、横断歩道脇に立っていると、広徳南方面から通っている二年生のお子さんでしょうか、紙に丁寧に包まれた赤と白のきれいなバラの花を手にして歩いてくる二年生の男の子の姿が目に入りました。思わず「きれいなバラだねえ」と声を発しました。その朝お母さんが、「きれいなバラだから学校にもっていくといいよ・・・」と声をかけながら、お子さんに持たせて学校へ送り出して下さったのだろうと、お家の庭先での様子が目に浮かんでくるようでした。ありがたいことです。後から、担任の先生にお聞きしたら、ついその2、3、日前にも女の子がお花を持ってきてくれたということで、大変喜んでおりました。きれいなお花の飾られた教室には、当然のことながらしっとりとした潤いのある空間が生まれ、そこにはやわらかな空気が流れます。私も小学校の頃、父母の声かけでよく花を持って学校に行ったのを思い出しますが、ずいぶん前に他界してしまった父母の願いや想いが、今頃になって分かりかけてきたような気が致します。

来月6月1日（月）、4日（木）には、それぞれ、高学年、低学年の参観日がございます。四月のPTA総会や参観日に参加された地域の方から、次のような旨のご指摘やご指導をいただいておりますのでここに掲載させていただきます。

- ・教室の前、後の戸を開けっ放しにして、入りやすく、見やすくしていただけるとよい。
- ・教室の中で参観しながら、隣近所の方とお話をされている方がいらっしゃり気になった。
- ・廊下での話し声、携帯電話等の話し声はいかななものでしょうか。迷惑そうにしている方もいらしゃいました。
- ・参観日であっても、子どもにとっては大切な授業です。参観者が私語をすることは真剣に学んでいる子ども達や指導している先生方に対して失礼なことです。

よく考えてみれば（よく考えなくても）このご指摘はごもっともですね。教師も親も全て、子ども達のまわりにいる人が、子どもにとっての成育環境の一部であることは言うまでもありません。私たちが生み出している空気を吸って子どもは育ちます。我が子の健全な成長や幸せを願いながら、子ども達が学ぶ姿をしっかりと参観し、見守ることのできる下氷鉋小学校のPTAでありたいと願っております。我が身の言動や所作を謙虚に省みながら、子どもにとっての望ましい範、教育環境になれるように、共に考え努めることができれば幸いです。

